

諏訪明神大祭

忍草浅間神社の諏訪明神祭りは、江戸時代より続く、神仏混合の名残を色濃く残す貴重なお祭りです。明治の廃仏毀釈以後、お宮とお寺は政府の政策により分けられてしまいました。忍草においては、古来より東圓寺住職との深い関わりの中で、せめて、「秋祭りは東圓寺にお願いをしよう」と言う村人の思いがあったのではないかと想像します。

平成の時代になった今もなお、お宮のお祭りをお寺がお手伝いする風習が残っていることは、文化的な価値が高いと言えます。県から調査に来られた方のお話では、廃仏毀釈以後140年たってもなお、神仏混合の風習が残っていることは貴重な事だと言っておられました。

これからも忍草の文化を未来に受け継いでもらえるよう継承していかなければいけないと思いました。東圓寺の世話人さんをはじめ、多くの方々のご協力を頂きました。有り難うございました。



寺庭のつぶやき

檀信徒の皆様には平素より東圓寺に対しまして、暖かなご支援有り難うございます。平成22年度も終わろうとしています。今年も檀信徒の皆様方のお陰で、1年を終えることが出来ますことを、あらためて感謝申し上げます。

お盆を過ぎてから、秋祭り、秋のお彼岸、又、現住職の母親の十三回忌法要、お会式など秋は行事が多く、総代さんご夫婦をはじめ多くの皆様のご協力のお陰で、無事行事を終わらせていく事が出来ました。

様々な出会いと、別れを通じて日々勉強させていただいています。平成22年11月11日は大森正男会長の奥様、米子様がお亡くなりになりました。会長ご夫婦の偉業・功績は、末代まで伝えていかなくてはいけないご恩です。ふと、大森正男追想録の本が目に入りました。先代慈円の追想文を読みますと心に残る文章がありました。ご紹介させていただきたいと思います。

「忘れられない言葉」

【梵鐘のご寄付のお礼に会社に訪れた私に、「和尚、ここに整理されてある機材・器具は尊い社員の汗と努力により購入したもので、一日も長く使用するようにならなくてはならない。」

また、本堂の修復の折の事です。会長は、「和尚、ここで使う金は私のお金だと思ふなよ。このお金は会社の社員の尊い汗と努力によって得たものだから、一千たりとも無駄に使わないように心がけてくれ。」とご注意されました。この事は、私達に言われた言葉と思い、この言葉を肝に銘じて、東圓寺の繁栄に精進して参りたいと思います。

大森米子様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

平成22年度 お会式挙行



東京：成就寺様 如意輪寺様 長命寺様 神奈川：幸福寺様 千葉：安楽寺様
群馬：東福寺様 都留：竜石寺様 吉田：吉祥寺様 内野：承天寺様

会計

皆様から頂いた供養料は下記の通りに使われています。



収入の部

参列申込者148名×2,500円=370,000円
供養料のみ227名×2,000円=454,000円
当日参列者 19名× 500円=9,500円

支出の部

出仕僧お布施(9名)540,000円 出仕僧昼食・土産代48,733円
お守り札印刷代 40,950円
本堂お供え代(生花・菓子・果物)30,585円
食器用バック代26,520円
参列者昼食代・供物代108,630円(@543円)

収入 833,500円-支出 795,426円=38,074円



昨年にも引き続き
今年も有り難う
ございました。

お会式食材野菜等
寄進者
大森高見様
長田昭平様
天野五七様
天野保吉様
内野お堂様
宮野総太郎様

十一月三日、恒例のお会式が二百余名の檀信徒の皆様に参加して頂き、今年も盛大に行われました。堂における法要の後、墓参りをして、昼食、和やかな内に
事円成就しました。有り難うございました。